

進めています いわきの除染

本市の住宅除染の状況と、空間線量の現状などについてお知らせします。

除染実施の目安

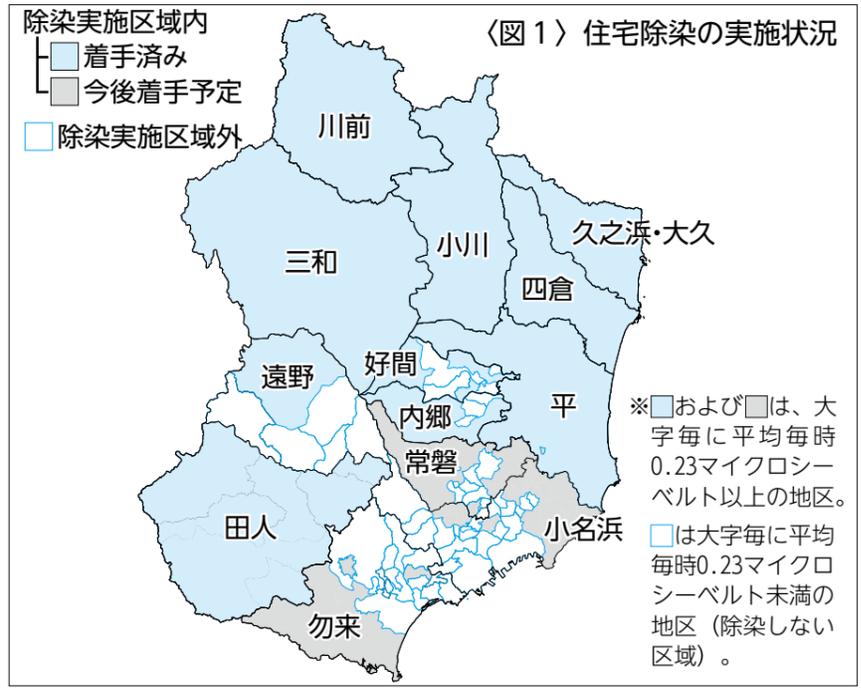
原発事故による放射性物質の除染については、放射

性物質汚染対処特措法に基づき、長期的な追加被ばく線量を、年間当たり一ミリシーベルト未満にするこ

とを目標にしています。具体的には、住宅敷地などの空間線量(高さ一メートルでの測定値。子どもの生活環境では高さ五十センチメートルでの測定値)が、

状況の調査対象軒数は、市内全軒数の六割強の約六万二千二百軒と見込んでおり、本年十月末までに、三万四千百軒の事前モニタリング調査が完了しています。

この結果、約八千六百軒が除染の対象となり、このうち約七千四百軒の除染が完了していることから、進捗率は約八十六パーセントとなっています(図2)。



本市の住宅除染の着手状況については、小名浜・勿来・常磐地区以外の十地区の除染実施区域で、事前モニタリング調査および除染作業に着手しており、現在未実施となっている三地区についても、順次作業を進めていく予定です(図1)。

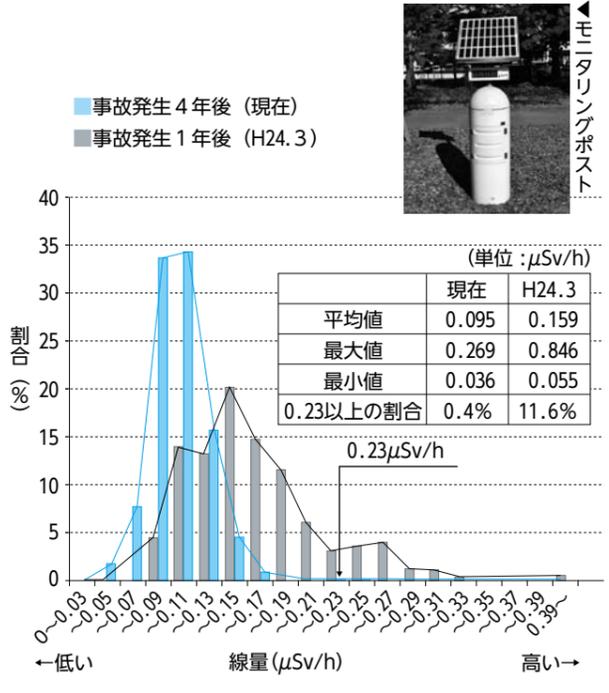
住宅除染の進捗率は約八十六パーセント

優先的に取り組んだ子どもの生活環境(保育施設、教育施設、公園等)は、既に除染が完了し、住宅除染についても、計画どおりに進んでいます。

新たに事業所除染に着手

測定結果から見た空間線量の推移

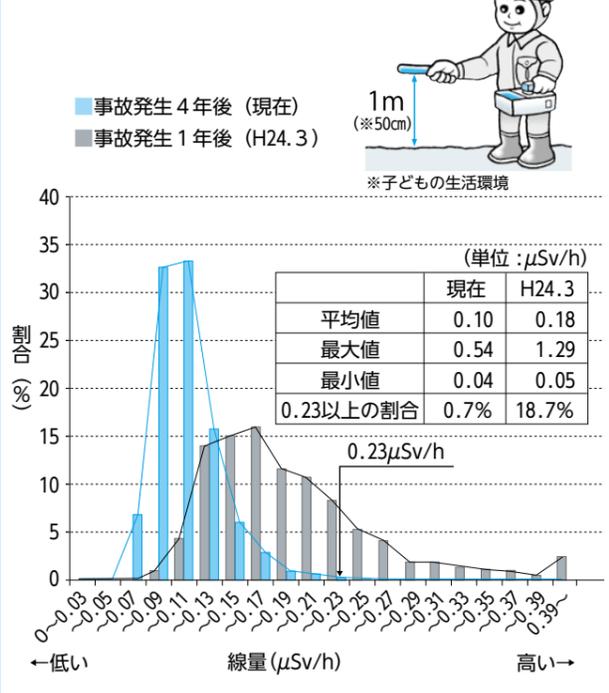
○「モニタリングポスト」および「リアルタイム線量計システム」での空間線量の推移



原子力規制庁および県は、モニタリングポストやリアルタイム線量測定システムを市内479カ所に設置し、その結果をインターネット上で公開しています。原発事故発生1年後と現在の測定値を比較すると、平成24年3月時点の平均値毎時0.159マイクロシーベルトに対し、現在の平均値は毎時0.095マイクロシーベルトとなり、除染実施の目安となる毎時0.23マイクロシーベルト以上の地点は、0.4%となっています。

原子力規制庁 放射線モニタリング情報
<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja>

○市が独自に実施している市内約2,000カ所での空間線量の推移



市は、公共施設や事業所など市内約2,000カ所を独自に測定し、その結果をインターネット上で公開しています。原発事故発生1年後と現在の測定値を比較すると、平成24年3月時点の平均値毎時0.18マイクロシーベルトに対し、現在の平均値は毎時0.10マイクロシーベルトとなり、除染実施の目安となる毎時0.23マイクロシーベルト以上の地点は、0.7%となっています。

いわき市放射線量マップ(いわきiマップ内)
http://www.sonicweb-asp.jp/g-iwaki/map?theme=th_179

※この他、原子力規制庁などが、定期的に航空機モニタリングを実施しており、地図上で空間線量の低減の状況を確認することができます。詳しくは、同庁のサイト (<http://radioactivity.nsr.go.jp/ja/list/362/list-1.html>) をご覧ください。

訓練

来年1月16日(土) 午前10時 市内沿岸部5地区で津波避難訓練を実施

危機管理課災害対策係 ☎22-1242



地震発生に伴う津波の襲来や地震災害に備え、市内沿岸部5地区(平、小名浜、勿来、四倉、久之浜・大久)で、津波避難訓練を実施します。当日は、午前10時に防災行政無線のサイレンを鳴らすほか、緊急速報メールの配信、FMいわき緊急割り込み放送などを実施します。実際の災害とお間違えのないよう、ご注意ください。

〈図2〉住宅除染の進捗状況(平成27年10月末現在)

| 除染実施区域内の軒数(約61,200軒) | | 除染実施区域外の軒数(約34,700軒) | |
|--------------------------|-------------|----------------------|--------|
| 事前モニタリング調査済み軒数(約31,400軒) | 今後の見込み | 事前モニタリング調査に不同意 | 今後の見込み |
| ① 除染対象となった軒数(約8,600軒) | 今後の見込み | | |
| ② 除染完了軒数(約7,000軒) | 不同意※(約400軒) | 作業中(約600軒) | 除染保留 |

〈住宅除染の進捗率〉
 ②(除染完了軒数+不同意) ÷ ①(除染対象となった軒数) = 86%

※除染対象であるが、除染作業を行わない旨の意思表示があったもの。

お問い合わせ
 ☎22-1206
 除染対策課計画係